

成人図書室だより 10月

京都市中央図書館成人図書室 平成30年10月1日発行



平成31年5月1日、元号が変わります。
今年度の「成人図書室だより」では、“平成ラストイヤー”と題して、平成に起こった様々な出来事や流行ったものなどをご紹介しつつ、平成という時代を振り返ってみたいと思います。

今月の
テーマは…

ベストセラー



平成に入り、多数の作家が生まれ、数えきれないほどの本が出版されました。平成のベストセラーというと、あなたはどんな本を思い浮かべますか？
ここ数年では、直木賞と本屋大賞を受賞した『蜜蜂と遠雷(恩田陸/著)』、芥川賞を受賞した又吉直樹さんの『火花』、少し遡れば、『ハリーポッター(J.K.ローリング/著)』シリーズなど。小説以外では『君たちはどう生きるか(吉野源三郎/著)』や『九十歳。何がめでたい(佐藤愛子/著)』…と、挙げていけばキリがありません。

また、“自分にとっての”ベストセラー本 というのもあるかと思えます。
4月から成人図書室で司書として勤務している私の中での平成のベストセラーは、主人公の純粹でひたむきな愛情が胸を打つ『ミミズクと夜の王(紅玉いづき/著)』です。

来年から始まる新元号のなかで、新しい“ベストセラー”はどんな本になるのでしょうか。本との出会いの場として、図書館もぜひご利用ください。



“平成のベストセラー”本を一部ご紹介！



『蜜蜂と遠雷』

恩田陸/著
幻冬舎/2016年

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン……。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群青小説。
2016年下半期直木賞、本屋大賞受賞作。

『九十歳。何がめでたい』

佐藤愛子/著
小学館/2016年



人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてようやくわかりました……。
大正12年生まれ、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトで絞り出した怒りの書。

【参考資料】

「激動の平成史」 洋泉社/発行 (210.7/ゲ/大型本)

10月のテーマ展示から

「新書80年」

今年は、日本で初めて「新書」が発売されてから80年目にあたります。

「新書ってなんだか難しそう…」そう思っている方も多いのではないのでしょうか。

いえいえ、面白い本もたくさんありますよ！ この機会にまずは一冊借りてみませんか？



しがみつかない生き方「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール

香山 リカ/著

幻冬舎新書 2009年

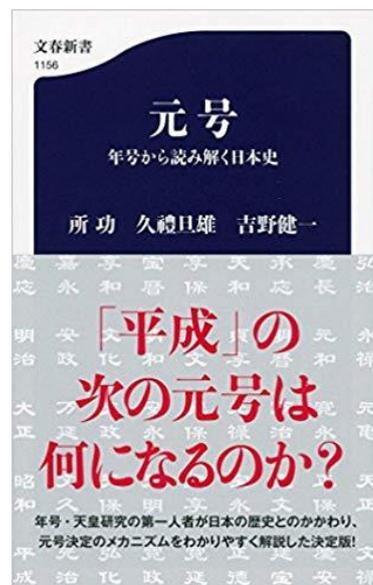
平凡で穏やかな「ふつうの幸せ」こそ最大の幸福だと、人々はやっと気が付いた…。自慢競争をやめる、お金や恋愛、子どもにしがみつかない、他人の弱さを受け入れるなど、脱ひとり勝ち時代の生き方のルールの提案する。

元号 年号から読み解く日本史

所 功・久禮 旦雄・吉野 健一/著

文春新書 2018年

「平成」の次の元号は何になるのか？ 年号・天皇研究の第一人者が、その千数百年に及ぶ、日本の歴史とのかかわり、元号決定のメカニズムなどをわかりやすく解説する。日本公年号表等も収録。



笑う科学イグ・ノーベル賞

志村 幸雄/著

PHPサイエンス・ワールド新書 2009年

牛糞由来バニラ、粘菌の迷路探索、犬語翻訳機……。

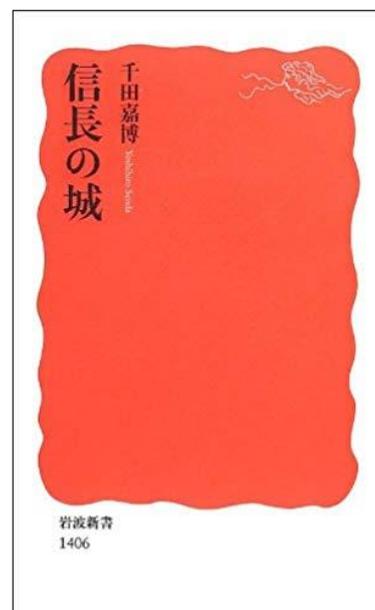
日本発、オモシロ科学の底力。イグ・ノーベル賞で世界をリードする日本人受賞者の取材をもとに、「まず人を笑わせ、そして考えさせる」研究を徹底分析。

織田信長の城

加藤 理文／著

講談社現代新書 2016年

小牧山城，岐阜城，安土城…信長は城づくりに何を求め，何を変えたのか。天守構築や金箔使用瓦使用の規制・許認可，破城，築城など，城郭政策の視点から戦国の覇者・織田信長の実像に迫り，その政治的意図を解き明かす。



教養としての10年代アニメ 反逆編

町口 哲生／著

ポプラ新書 2018年

百合・BL・疑似家族，聖地巡礼，監視社会…。現代を彩るさまざまなキーワードを切り口に，「輪るピングドラム」「ラブライブ！」など，2010年代を代表する7本のアニメを論じる。近畿大学の名物講義をベースに書籍化。

怖い俳句

倉坂 鬼一郎／著

幻冬舎新書 2012年

世界最短の詩文学・俳句は同時に世界最恐の文学形式でもある。日常を侵犯・異化する“なにか”，未知なるものとの遭遇，人間性そのもの…。数々のホラー小説を手がけ，また俳人でもある著者が，芭蕉から現代までをたどる。



テーマ図書は，カウンター横の書棚に多数展示しています。お探しの図書が見当たらない場合は，お気軽に窓口までおたずねください。



2018年10月 読書の記録



日付	書名	著者名	メモ

10月のミニ図書展示①

「おとなもたのしめる絵本」

今年は絵本作家 いわさきちひろ さんの
生誕から100年目にあたります。
このことを記念し、大人向けの絵本を
含めた関連書籍の展示を行います。



10月のミニ図書展示②

「古典の日」

11月1日は古典の日です。
中央図書館では10月下旬から
関連書籍の展示を行います。



京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2
☎075(802)3133

■開館時間

平日：9時30分から20時30分まで（児童図書室は17時まで）
土日祝日：9時30分から17時まで

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始